

中和地区3市1町障害者自立支援協議会
平成30年度 第3回運営委員会 議事録

開催日時：平成30年8月21日（火）10:00～12:00

開催場所：葛城市福祉総合ステーション（ゆうあいステーション） 2階会議室

出席者：葛城市（田中氏）香芝市（渡邊氏）大和高田市広陵町（佐々木氏）圏域Mg（木村氏）
圏域弁護士（荒木氏）ブリッジ（石井氏）青垣園（堀氏）なつつ（西口氏）しえ〜く（吉岡氏）

どんぐり（小田氏）香芝市社協（江口氏、松田氏）ふわら（秋本氏）明日香養護（三宅氏）
大淀養護（山本氏）西和養護（横澤氏）葛城市社協（高橋氏、池氏）
もちつもたれつ（大竹氏、田中氏）まんだらトポス（林、福井・記録） 順不同

配布資料：次第、前回議事録、3市1町基本情報調査・地域生活支援事業の比較、
中和地区3市1町自立支援協議会設置要綱、地域生活支援拠点等事業の整備について
特定相談支援事業所平成30年2月1日現在届出情報、
西和養護学校平成30年度要覧、大淀養護学校平成30年度要覧、
大和高田市避難マニュアル家庭向け、大和高田市洪水ハザードマップ

1、開会

2、議事

○参加機関の紹介

以下、機関及び紹介者（発表順）

- ① 県立大淀養護学校 …県立大淀養護学校 山本 氏
- ② 県立西和養護学校 …県立西和養護学校 横澤 氏

○各市町より別紙「3市1町基本情報調査」についての説明

香芝市 …特に大きな改訂なく、前回通り。人口及び障害サービス支給決定数は増加。

大和高田市…前回から大きな変化はない。世帯数は増えているが、人口は徐々に減少している＝単身世帯が増えている。生活保護人口の割合が県下でも多い。日中一時支援事業において、放課後等デイサービスの指定のある事業所なども参入できるように、今年度から要綱改訂している。

広陵町 …人口はおよそ3万5千人で推移。手帳所持者は4～4.5%で推移。地域生活支援事業についてはここ数年変化ない。広陵町には単線の駅が一つで、バス路線の廃止の動きもあり、自家用車がないとどうしようもない。高齢者、障害者、児童にとっては交通事情がかなり厳しい状況となってきた。

葛城市 …人口37349人。人口は増加。若い子育て世代を呼び込むため取り組んでいる。身体障害者手帳所持者は微減。療育手帳は児童のサービス支給決定数の増加を受け、手帳の取得数も増加、精神障害者手帳については、精神障害者医療費助成制度の影響を受け、増加

していると思われる。

○部会とプロジェクトチームのあり方について

・プロジェクトチームの終了時の評価等について

1、2回の協議で解決するものなのか、1～2年必要なのか、評価時期について要綱に明記しておく必要があると思う。今後の部会とプロジェクトチームの設立や廃止のために、きちんと整理しておく必要があると感じる。

・地域移行プロジェクトについて

会長：特化した課題というのが、「地域移行」という大きな課題であり、解決に至りにくかったという経緯がある。このまま継続し協議を続けていくのか、一旦終了し、違う形をとっていくのかを本日、協議したいと思う。まずは、地域移行PJリーダーの西口氏より今年度の活動報告をお願いしたい。

西口氏：6月に第1回開催。保健所精神保健担当職員にも参加頂き、助言を得ている。2年間の大きな成果というものはなかったが、もう一度近隣の精神科病院に協力を依頼し、地域移行対象者のリストアップを行っていく方向となっていた。

会長：2年間の活動で地域の受け皿がないということがわかり、受け皿がない状態で地域移を進めていけるのかという課題が見えてきた。これは大きな成果だと思う。「地域の受け皿をどう作っていくのかを協議すること」が、喫緊の課題であると事務局では考えている。地域移行プロジェクトは一旦終了し、地域生活支援拠点事業検討へとシフトをして、地域に受け皿を作っていければ、地域移行における新しい課題も生まれるのではと考える。

西口氏：3市1町及び他事業の方々が賛同されているのであれば、休止で構わない。

佐々木氏：地域生活支援拠点事業検討のための新PJ立ち上げと、地域移行PJを終了することは別問題では。

会長：地域の受け皿がないという事実はどう取り組むかは、共通した課題であると思う。取り組める人員にも限りがある。地域の社会資源について見直しを行い、新たな課題が見つければ、新たにPJを立ち上げるということにしたい。

⇒地域移行プロジェクトは終了とする。

・石井部会長より就労支援部会状況報告

第1回では改めて方針・目的の確認、新規参入・退会についての取り扱いの検討、各市町及び各事業所での優先調達の現状についての確認を行った。

・堀部会長より大和高田市部会状況報告

既に4回実施。今年度については、大和高田市内の社会資源の確認のため、事業所見学を実施している。スーパーバイザー派遣事業についての検討も行っている。11月頃の実施予定で、講師は社会福祉法人萌山本氏を予定している。

- ・担当市である大和高田市山本氏より子どもPJ状況報告

第1回では多機関の連携における課題、問題点についての意見交換や、児童発達支援センター整備における3市1町での状況、センターのあり方についての協議、サポートブックについての検討を行った。

○地域生活支援拠点事業について

- ・圏域Mg木村氏より、別紙「地域生活支援拠点事業について」に沿って概要説明

今後、運営委員会での検討だけでは難しいため、PJ等の立ち上げは必要。その前段階として、準備委員会のようなチームでの検討がまず必要となる。平成32年度末までの整備を目指し、圏域Mg木村氏よりスケジュール案を提示して頂く予定。

※以下意見

ふわら秋本氏：緊急時や困難事例に対し、各々が行っている対処方法が社会資源である。それを共有することで地域資源になると思うので、是非、そういう場となるようにして頂きたい。

⇒検討チームのメンバーについては、近日中に圏域Mg木村氏より依頼予定。

3、その他

○大阪北部地震の影響について

⇒特に報告等なし。

○協議会体系図について副会長福井より報告

概案は作成済み。ホームページへの掲載内容検討時に最終の内容確認をして頂きたい。

○研修会等の案内

- ・平成30年9月1日 「地域生活支援拠点事業について考える」(生駒市)
- ・平成30年9月6日 「障害のある子と家族を守る成年後見制度セミナー」(葛城市)
- ・平成30年8月31日締切 「相談支援従事者現任研修」

4、閉会

○次回予定

日時：平成30年10月9日(火)10:00～

場所：葛城市福祉総合ステーション(ゆうあいステーション) 2階会議室